

講義科目 : 地方財政論	単位数 : 2
担 当 : 白石 智宙	学習形態 : 選択科目

講義の内容・方法および到達目標

この講義では、日本では主として都道府県と市町村という「地方政府」が担う地方財政の理論と制度について学びます。他の先進諸国の地方財政と比較しながらその特徴を学ぶとともに、日本全国から選んだ地方財政のケーススタディから、より具体的な形での理解を目指します。最終的に、受講生の生きている現代社会のなかで地方財政がどのような役割を担っているのか、その背後にある考え方に至るまで理解できるようになることが到達目標です。

授業計画

- 第1回 インTRODakション（地方財政の考え方）
- 第2回 地方財政の機能
- 第3回 予算・決算
- 第4回 地方税
- 第5回 政府間補助金
- 第6回 地方交付税
- 第7回 地方債
- 第8回 経費論 前半
- 第9回 経費論 後半
- 第10回 政府間財政関係
- 第11回 財政格差
- 第12回 地方自治
- 第13回 地方分権改革
- 第14回 地方財政史
- 第15回 公私分担論

教材・テキスト・参考文献等

教材・テキストは指定しませんが、下記を参考文献とします。
 重森暁・植田和弘編（2013）『Basic地方財政論』有斐閣
 諸富徹・門野圭司（2007）『地方財政システム論』有斐閣
 『地方財政白書（各年度版）』総務省（総務省HPから入手できます）
 『財政状況資料集（各年度版）』総務省（総務省HPから入手できます）

このほか適宜レジュメを配布します。

成績評価方法

レポート 70%
 平常点 30%